

2～3月 菊池さくら千年プロジェクト
植樹の輪が広がっています！ 日本一の桜の里づくり

「菊池さくら千年プロジェクト」の一環として、市内6カ所で植樹がありました。2月28日に花房坂39本、上内田川堤防32本。3月5日に今区28本、迫間川堤防2カ所(計10本)。3月14日に矢護川堤防9本。計119本を植樹しました。参加者は「成長が楽しみ」「機会があればまた参加したい」と話していました。

このプロジェクトは日本一の桜の里を目指して始まったもので、主に河川堤防や道路沿いへの桜の植樹と管理を行っています。



羽根木区



野間口区



花房校区



高田区



今区



川下区 寿会

シリーズ 文教の偉人 ④

問い合わせ先 生涯学習課
 ☎0968(25)72332

渋江紫陽 (1719～92)

前回、県北の文教の中心的存在として渋江家を紹介しましたが、今回はその中でも江戸時代の中頃に活躍した菊池文教の祖、渋江紫陽を紹介します。

紫陽は1719(享保4)年、隈府で生まれ、名を公豊といいました。少年のころから学問が好きで、14歳のころに水足博泉に、その後は山鹿の加々美鶴庵に師事し、友人である僧の玄密と一緒に山鹿までの道を通いました。当時は武芸が盛んで、机に座って本を読むのは怠け者と見られがちでしたので、人に気付かれないよう日暮れに自宅を出て、夜が明けぬうちに帰宅したといわれます。

2人の師の教えには、共通して「古学(儒学の一派)」と「菊池一族の顕彰(業績を讃え世間に広めること)」という柱がありました。紫陽自身にもその2本の柱は受け継がれ、紫陽以降の菊池の文教の基礎になりました。

紫陽は30歳の時に、藩校「時習館」より6年も早く、私塾「集玄亭」を創立し、閉鎖されるまでの45年間に300人以上がここで学びました。紫陽が教えた「古学」は藩と方針が異なっていたので藩には仕えませんでした。藩の学者たちは時折紫陽を訪ねてきて、「城北の隠君子」と呼んで大変尊敬していました。

1779(安永8)年、61歳の時、紫



菊池武光墓碑

陽はもう一つの念願を果たします。菊池氏の15代武光の墓碑建設です。今こそ、菊池市のシンボルとも言えるべき銅像で有名な武光ですが、当時は長年室町幕府に抵抗した武将のために立派な墓を立てるのはとても難しいことでした。紫陽が立ち上がるまでは荒れ果てて雑草の中に埋もれていたのです。紫陽は養子松石、弟子宗伝次と協力し、正観寺に武光の忠節をたたえた墓を建てました。

紫陽は1792(寛政4)年に74歳で亡くなりましたが、菊池文教の基礎を築いた功績が認められ、大正4年、従五位が贈られました。

シリーズ 菊池の企業 ⑧

問い合わせ先 商工観光課
 ☎0968(25)7223

菊池市企業連絡協議会の加盟会員を紹介します。

市の産業振興や市勢発展のため市内企業62社が加盟している団体です。

世界のものづくりを支えるグローバル企業
平田機工(株)七城工場

◆所在地 七城町蘇崎1471番地10

◆従業員 40人

◆設立 平成20年1月

☎096(272)0555

Ⓔ <http://www.hirata.co.jp>

◆主な製品 各種生産システム、産業用ロボットなど物流関連機器の製造・販売をしており、製品の80%以上を海外に出荷しています。

◆業務内容 自動車のエンジンや半導体の材料搬送をする真空ロボット、家電などの生産設備を製造・販売しています。

◆市民の皆様へ 世界のものづくりを支える熊本生まれの企業です。菊池市の他、熊本市、楠野町にも工場があり、熊本地区全体で約千人が働いています。



工場外観



製品写真



代表：平田雄一郎さん

対米・対香港・対カナダ輸出認定工場
(株)熊本畜産流通センター

◆所在地 七城町林原9番地

◆従業員 236人

◆設立 昭和60年10月

☎0968(26)4121

Ⓔ <http://www.kumatiku.jp>

◆主な製品 牛・豚枝肉、副生物、部分肉、パック製品を製造しています。県内中心に九州関西方面まで出荷しています。

◆業務内容 肉畜のと畜処理、部分肉の製造販売加工を行っています。全工程でHACCPシステム(食品衛生管理の手法)を取り入れています。

◆市民の皆様へ 畜産農家と消費者のパイプラインになり、「安全・安心・新鮮」な食肉を食卓へお届けします。また、食肉の地産地消に取り組み畜産の発展に貢献します。



工場外観



代表：加末誠一さん

2月5日 宝くじ助成金事業 宝くじ助成事業で公民館を建設

コミュニティの健全な発展を図ることを目的としたコミュニティ助成事業により、高野瀬区にコミュニティセンター（公民館）が建設されました。

このコミュニティ助成事業は、宝くじ社会貢献広報事業費を財源として一般財団法人自治総合センターが助成決定を行うものです。

今後、高野瀬区のますますの活性化が期待されます。



高野瀬区コミュニティセンター（公民館）

2月10日 菊池清流クラブが樹木を寄贈 清流公園の新たなシンボルに

菊池清流クラブ（松本節夫代表）が菊池ふれあい清流公園に墨染桜の苗木を寄贈しました。苗木は菊池遺産に登録されている寺尾の墨染桜に接ぎ木し、増やしている内の1本。後世に残していくため、いつも利用する菊池ふれあい清流公園に植樹して新たなシンボルになってほしいとの思いで寄贈しました。

樹木は快適な公園づくりに活用します。寄贈ありがとうございました。



左から菊池清流クラブの瀧本欣也さん、松本さん

2月13日 市民表彰 中山敬吾さんに特別表彰

菊池市まちづくり生涯学習フェスティバルで市民表彰があり、中山敬吾さんに（60・遊蛇口区）特別表彰が贈られました。中山さんは、菊池北中学校野球部コーチとして27年間の長きにわたり少年野球の指導に尽力し、子どもの成長、教育に大きく貢献しました。

指導者として野球を通じて青少年の健全育成に貢献し、その功績が顕著であることが認められ表彰されました。



左から菊池市副市長から表彰状と記念品が贈られました

2月5日 市長と語る会・賀詞交歓会 企業連絡協議会と市長が意見交換

菊池グランドホテルで市内企業62社が加盟する「菊池市企業連絡協議会」が市長と語る会・賀詞交歓会を開催しました。

市長と語る会では、会員企業からの質問や要望に、江頭市長が口頭で回答するなど市勢発展に向けた活発な意見が交わされました。賀詞交歓会は菊池市議会議員の森清孝議長をはじめ、多数の人が参加し、盛大に行われました。



活発な意見が交わされました

2月6日 地域体験学習 ふるさと大好き、北小っ子

ふるさとに自信と誇りを持つ児童の育成などを目的に菊池北小学校で地域体験学習がありました。全校児童約290人が5つの地区に分かれ、地域の伝統や文化を学習。龍門地区では39人が江戸時代から続く馬作りを体験し、地元住民の指導を受けながらワラと竹で馬を完成させました。体験した児童は「馬作りは初めてだったので、貴重な体験ができました。家に飾りたいです」。



地元住民の指導を受けながら馬を作る児童

2月12日 玉田工業株式会社 車椅子を寄贈

石油貯蔵・地下貯蔵タンクの全国トップシェアを誇るタンクメーカーで林原・蘇崎工業団地内に立地している玉田工業株式会社が、地域貢献と地域活性化の取り組みの一環として、菊池市社会福祉協議会に車椅子1台の寄贈を決定。贈呈式が行われました。受け取った菊池市社会福祉協議会の宮本武夫会長は「ありがとうございます。大切にさせていただきます」と感謝を述べました。



左から社会福祉協議会の吉安輝久事務局長、宮本会長、玉田工業株式会社の川北博文さん、鈴野祐一郎工場長

1月24日 旭志一周駅伝大会 みんなでたすきをつなぎました

第40回旭志一周駅伝大会・第50回くらだけ友の会旭志一周駅伝大会は、一般の部全14区間、くらだけ友の会の部全18区間の総延長30^{キロ}コースで行われ、地区や企業、子ども会など全21チームが健脚を競いました。上位の結果は次のとおりです。（敬称略）

【一般の部】
優勝 九州柳河精機(株)
準優勝 よかばい妻越
3位 伊坂
【子ども会の部】
優勝 新明



勢いよくスタートを切る選手たち

1月31日 第26回東京泗水会総会 ふるさとのつどい

東京泗水会（石坂玲子会長）の第26回総会「ふるさとのつどい」が東京都内で開催され、会員など約70人が参加しました。総会と懇親会には、本市から泗水町出身の市議会議員と木村副市長が出席し、ふるさと納税への協力にお礼を述べました。昨年11月の「米・食味分析鑑定コンクール世界大会」で菊池米が2部門で最高賞を受賞したことなど菊池の活躍も伝えられました。



参加者全員で記念撮影

2月5日 第13回菊池わいふのひなまつり ひなまつりオープニング

菊池夢美術館で「第13回菊池わいふのひなまつり」のオープニング式典が開催され、関係者など約30人が参加しました。式典では菊池第2さくら幼稚園の園児らが合唱や踊りを披露。特別ゲストとして菊池市応援キャラクター「きくちくん」も登場するなど、大いに盛り上がりしました。

期間中は菊池夢美術館と隈府地区一帯でさまざまなイベントが開催されました。



関係者によるテープカットが行われました

1月23日 国立能楽堂1月公演 菊池の松囃子を国立能楽堂で披露

東京都の国立能楽堂で御松囃子御能保存会（田嶋晴雄会長）が国指定重要無形民俗文化財に指定されている「菊池の松囃子」を披露しました。松囃子能は天下泰平などを願って舞われるもので、室町時代に申楽が能楽として大成されるころの芸能を今に伝える貴重なものです。田嶋会長は「菊池の歴史文化を伝えることで、保存会として今後の継承の励みになった」と話しました。



国立能楽堂の舞台上で松囃子能を披露する保存会の皆さん

1月31日 菊池地域2市2町で連携協定 在宅医療の充実を目指して

菊池市文化会館で菊池地域2市2町（菊池市、合志市、大津町、菊陽町）の在宅医療の充実を図る協定の締結式が行われ、郡市医師会など医療、介護、福祉の関係機関と菊池地域2市2町が調印しました。この協定は、住み慣れた地域で人生の最期まで安心して暮らすことができるよう、安定した医療や介護、予防、住まい、生活支援などが包括的に確保される体制づくりを目指します。



協定に調印した関係機関の代表者

2月4日 市内金融機関で振り込め詐欺を防止 菊池警察署で感謝状贈呈

振り込め詐欺の被害を防止したとして、熊本銀行菊池支店の國武みゆきさんと高瀬美奈子さんに菊池警察署から感謝状が贈呈されました。2人は来店した高齢の女性が「孫に現金を渡したい」と慌てている様子を不審に思い、警察に通報するなどして被害を防止しました。感謝状を贈呈した國津剛署長は「おかげさまで被害が防止できました。ありがとうございます」とお礼を述べました。



左から國津署長、同支店の國武さん、高瀬さん、坂下久男さん

2月18日 消費者被害防止ネットワーク会議 消費者被害を防止を目指して

菊池市消費者被害防止ネットワーク会議を菊池市役所で開催しました。この会議は、市民の安心安全で豊かな消費生活の実現のために関係機関と個人、団体などが連携し、消費者被害を未然に防止することを目指して意見交換などを行います。今回は、福祉課に新設した「菊池市くらしサポートセンター」との連携事例や庁内・庁外との連携で解決に導いた事例などを会議で報告しました。



関係の代表者が集まり意見を交換しました

2月21日 菊池市健康づくり大会 お茶を飲んで健康になろう

七城公民館で開催され、多くの来場者でにぎわいました。ステージでは日本茶アーティストの茂木雅世さんを講師に招き、「お茶と健康」をテーマに講演がありました。講演後は茂木さんと本市の地域おこし協力隊北里嘉幸さんがワークショップを開催。参加者は、お茶とアートを融合した新しい感覚のお茶の楽しみ方を学んだり、薬草茶とセルフ整体を通じた健康法を学んだりしました。



茂木さんのワークショップ

2月22日 俳句・短歌 第10回万句のふるさと菊池表彰式

第10回万句のふるさと菊池の表彰式が七城公民館であり、出席した25人の児童・生徒に表彰状と記念品が贈られました。

今回の募集には県内や本市の姉妹都市、友好都市、交流都市の小中学生から、俳句8,705句、短歌1,348首、計10,053の作品が寄せられました。入選者200人のうち30人が最優秀賞に選ばれました。



受賞した皆さん

2月18日 緑化環境美化功労者表彰 上町老人会と深川フラワーズが表彰

上町老人会と深川フラワーズが熊本県緑化環境美化功労者表彰を受け、報告のため市役所を訪れました。この表彰は、長年にわたり月1回以上の美化活動などを行っている団体を表彰するものです。上町老人会は、菊池松籬子能場や將軍木周辺などの清掃や除草を10年以上実施。深川フラワーズは、平成11年から現在まで、同地区の歩道部分の花植えなど緑化活動を続けています。



上町老人会の皆さん④
深川フラワーズの皆さん⑥

2月19日 「デートDV」を学び防止しよう 菊池女子高校で人権教室

山鹿人権擁護委員協議会（近藤安隆会長・会員26人）が菊池女子高校の3年生を対象に交際相手から受ける暴力「デートDV」の人権教室を開催しました。

人権教室では3種類のデートDVの映像を見て生徒と人権擁護委員が感想を話し合ったほか、「なぜデートDVがおこるのか」「なぜ別れないのか」「対等な関係を築くための方法」などデートDVの本質を学び意見交換しました。



デートDVを防ぐ方法などを学びました

2月21日 第1回山桜植樹祭 ふるさとを人が集まる桜の名所に

第1回山桜植樹祭が斑蛇口湖畔であり、市民や関係者など約200人がヤマザクラの苗木を植樹しました。竜門ダム建設に伴い移転した住民グループが、ふるさとを人が集まる桜の名所にしようと企画。宮崎市の造園業者の協力を得て約2畝に300本を植樹しました。参加した江頭市長は「これこそ地方創生の根底にある活動。一本ずつ大切に植えて次世代に受け継ぎましょう」と語りました。



300本の苗木を1本ずつ丁寧に植えました

2月13日 菊池市まちづくり生涯学習フェスティバル 子どもも大人もフェスティバルを満喫

菊池市文化会館で開催され、市内外から約800人が参加しました。ステージ発表では小学校や市民団体など6団体が日頃の練習の成果を披露。会場からは惜しみない拍手が送られました。記念講演では「出会い、ふれあい、人の味」と題し、テレビやCMなどでおなじみの八名信夫さん（俳優）が、ユーモアを交えて講話。小ホールでは、ものづくり教室、ふれあい動物園、公民館講座の作品展示などもあり、子どもから大人までフェスティバルを満喫していました。



身振り手振りを交えて熱心に語る八名さん

2月14日 第42回泗水町内一周駅伝大会 町内を全力疾走!

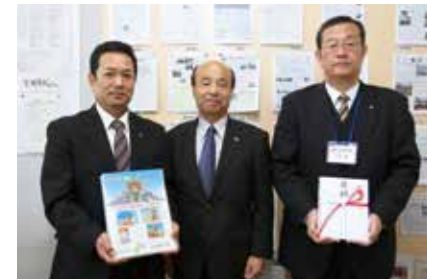
孔子公園をスタート・ゴールに、全9区間32.5kmのコースで行われ、34チームが参加しました。上位の結果は次のとおりです。【一般の部】優勝：北住吉区（2時間12分27秒）2位：福本一区（2時間17分57秒）3位：富の原台区（2時間19分41秒）【オープン】優勝：剛明直疾風（2時間1分36秒）2位：消防Aチーム（2時間5分25秒）3位：泗水中サッカー部（2時間9分14秒）



一斉にスタートする選手たち

2月17日 熊本県トラック協会 交通安全用品を市内小学校に寄贈

熊本県トラック協会が市内小学校に交通安全用品を寄贈し、菊池教育事務所で贈呈式が行われました。これは社会貢献事業の一つとして毎年行っているもので、ことして7回目。寄贈したのは蓄光式反射キーホルダーとクリアファイル。同協会菊池支部の藤木徳昭支部長は「未来を担う子どもたちの安全のために使ってほしい。これからも活動を続けていきたい」と話しました。



藤木支部長④から中津謙一菊池教育事務所長⑤に目録が渡されました



1. 泗水東保育園児による和太鼓演奏 2. 菊池市マジック同好会によるマジック 3. ものづくり教室 4. 泗水小学校合唱部による合唱

2月14日 中原自主防災組織 中原を良くする会合同防災訓練

中原区の住民でつくる「中原を良くする会」が同区公民館で防災訓練を行いました。平成18年度から毎年実施しており10回目。参加者は消火器を使った消火方法や小型ポンプの使い方を学習。炊き出し訓練では地元で栽培したそば粉を使い、参加者にそばがふるまわれました。同会の原川智明会長は「地元住民が防災意識を持つことが大切。今後も防災意識向上のため訓練したい」。



地元の消防団員に消火器の使い方を習いました

2月15日 平成27年度熊本県茶振興大会 齊藤敏春さんと中山秀樹さんが表彰

J A熊本経済連ホールで熊本県茶振興大会があり、熊本県茶品評会と熊本県経済連茶生産流通協議会茶共進会の表彰式が行われました。本市から齊藤敏春さん（旭志）が熊本県茶品評会「茶園の部」で会長賞と特別賞（農林水産大臣賞）を、中山秀樹さん（旭志）が熊本県経済連茶生産流通協議会茶共進会「普通煎茶の部」で、個人賞と特別賞（熊本県茶商業協同組合理事長賞）を受賞しました。



受賞した中山さん⑤と齊藤さん④